

武蔵村山市第二次まちづくり基本方針(案)
第 10 回庁内検討委員会意見対応表

No	項目	意見	対応
1	まちづくり基本方針の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・P2 モノレールの開業について、都知事によって 2030 年代半ばの開業を目指すと言われたため、追記できないか。 ・本方針の目標年である令和 24 年とモノレール開業目標年の 2030 年代半ばで齟齬が生じる場所はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モノレールの開業目標について、追記する。 ・モノレール延伸を前提とした方針を作成してきたため、齟齬が生じる場所は特にない。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・P2 「市民と市が協働して～」とあるが、事業者は記載しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方針の他の部分を含めて、「事業者」を追加した形で表記を統一する。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・P3 図中の「関連する本市の行政計画等」の各種計画はまちづくり基本方針と相互に整合を図っていることから、両矢印ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する本市の行政計画等とまちづくり基本方針を両矢印でつなぎ整合性を図るイメージとする。 ・新青梅街道沿道地区まちづくり計画とモノレール沿線構想については、まちづくり基本方針が上位となることから片矢印のままとする。
4	全体構想	<ul style="list-style-type: none"> ・P47 市としては、モノレール駅周辺（特に No1 駅周辺）医療福祉施設の新規誘導を想定していない。他の表現に工夫できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P47 では、全体構想として、駅周辺には、多様な都市機能が集積できるよう標記している。 ・No.1 駅周辺は、地域別構想において、福祉などの表現は除いている。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・P57 「東京都と連携して早期整備～」という表現について、これまでの議会で使われたことはあるか。今の表現だと、市が何かするように感じるが、今後の議会の答弁内容と変わってしまうのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観音寺緑地では、市からの情報提供をもとに東京都が生産緑地の買取を行っている。 ・野山北・六道山公園、中藤公園の整備主体が明確にわかるような表現に修正する。
6	地域別構想	<ul style="list-style-type: none"> ・推進は市が整備主体となって進めていくイメージがあり、整備主体は別で事業について市は促していく方向のイメージである。 ・P84 大南公園や雷塚公園の整備についても東京都などの別主体が行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの主体が整備を行うのか、明確になるように修正する。

No	項目	意見	対応
7	将来像の実現に向けて	<p>・P118 初めの2行が消極的な文章に感じる。P6 に目標年次の記載があるため、削除したほうがいいのではないか。</p>	<p>・削除 ⇒ 本方針の運用に当たっては、・・・</p>